

ミス調布が福祉作業所を訪問。

# 「活躍する場」が あって素晴らしい！

## 「すまいる」って どんなところ？

今回レポートしてくれるのは、福祉作業所の中に入るのはじめてというミス調布の伊藤由雅さん、準ミスの大沼美奈さん、そして養護施設での研修経験があるという準ミスの小幡唯菜さん。2015年10月に調布市制施行60周年記念イベントとして21年ぶりに開催された「ミス調布コンテスト」（調布市商工会主催）で選ばれ、今、大活躍の3人です。

伺ったのは、京王線飛田給駅から徒歩約15分のところにある調布市社会福祉事業団が市から受託運営している「すまいる」。はたしてどんなところでしょうか？



すまいるには19才から60代まで34名の方が通っています



まずは施設長から施設の特徴などをヒアリング

「すまいる」は、軽度・中度の知的障がいのある方が通い、地域で生活しながら仕事を通じて社会参加する施設です。主な仕事はパン作りと販売のほか、市役所と都庁の文書交換便などの仕事に取り組んでいます。  
パンは、500〜800個を毎日手作りし、近隣の企業や学校、施設などで販売。布田にある「フレッシュベーカリーすまいる」では、焼きたてのパンが地域の方に喜ばれています。パンの売上は給料として収入となり、仕事への意欲にもなります。「すまいる」はひとり一人が必要とされていると感じられることを目指し、働く喜びと機会を提供しています。

福祉作業所は連絡会に加盟しているだけでも市内に34カ所あります。今回は、ミス調布・準ミス調布の3名の方に、飛田給にある「すまいる」という施設が毎日焼き上げる「パンを巡る旅」に出ていただきました！



本格的なパン焼きオープンも備えたパン工房。ほかにトッピングなど2次加工を行う部屋もありました

## パン焼きに 挑戦

レポートリは約50種類。定番商品に加え、季節や月毎に新商品も出しています。おいしいパンをお届けするために前日から仕込みを行い、朝7時から焼くそうです。3人もパン焼き体験にチャレンジしました。



休憩スペース。思い思いのスタイルでくつろいでいました

## じゃ〜ん 焼き上がり！



この日焼いたパンを見せてもらいました。おいそ〜。いい匂いがします



パンの焼き方のレクチャーを受けました



左から小幡唯菜さん、伊藤由雅さん、大沼美奈さん

## すまいるのパンが買えるところ

- 知的障害者援護施設すまいる受付  
調布市西町290-4の「すまいる」でも月〜金10時30分頃〜16時まで買えます。(祝祭日を除く)
- フレッシュベーカリーすまいる  
記事で紹介している分室でも買えます。
- 国際基督教大学(ICU)  
三鷹市にあるICU-ディッフェンドルフアー記念館内でも月〜木11時30分〜13時に販売しています。
- 調布市総合福祉センター販売コーナー(1F)  
調布駅前にある福祉センターでも毎週月曜日に販売しています。

## 配達に出発

### アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)のロビーで販売



焼きあがったパンを販売先に届ける。この日は3台の車が3か所に配達・販売に出発

アフラックの協力のもと、調布スクエアビルのロビーで社員の方向けに毎週月〜金曜日出張販売させてもらっています

### フレッシュベーカリー 「すまいる」でランチを購入



小幡さんのチョイス。右からメロンパン110円、メンチカツバーカー200円、りんごパン110円、おもちあんぱん130円



伊藤さんのセレクト。右からクロックムッシュ150円、緑豆パン110円、シナモンロール140円、明太ポテト150円

## おいしくて ボリュームもあります



ちょうふだぞうティールームで試食。パン屋さんの隣です。  
●調布市布田2-29-1 営業日:月〜土10時30分〜18時30分

## 開放感がいいですね!



2000年にできた施設は吹き抜けて開放感いっぱい



すまいる分室。1階が「フレッシュベーカリーすまいる」。ここでは、障がいのある方が企業で働くために必要な技能やマナーを学ぶさまざまな支援事業が行われています。●調布市布田2-29-4ベーカリーの営業は月〜金11時30分〜15時(祝祭日を除く)

フレッシュベーカリーすまいるでは、毎週月〜金曜日11時30分〜15時にすまいるで焼いたパンを販売しています。すまいるのパンはおしくてボリュームがうま、リーズナブルなのが魅力。あまり知られていませんが、ここで購入するとトレイにパンを乗せたのまま、隣の「ちょうふだぞうティールーム」へ持って行くことができ、コーヒーなどを飲みながら食べることが出来ます。ここには100円コーヒーもあり、おいしいパンとコーヒーを手頃な価格で楽しむことができます。

パンを作るところから販売、試食まで、約4時間の駆け足の旅となりました。大沼さんは「パン屋さんの前をよく通っていますが知らなかった(笑)。本当にパンが安くておいしい。次からは利用します」と語ってくれました。小幡さんも「パンを焼いたり、運んだり、売ったり。私たちに知らないところで頑張っているんだなと思いました。これからは応援します」と語ってくれました。伊藤さんからは、「障がいのある方にとって活躍する場があることが素晴らしいですね。ミス調布としても広報させていただきます！」といううれしい言葉をいただきました。